

区分・種別	県指定史跡		
名称	えりょうじょうあと 恵良城跡		
所在地	松山市上難波		
所有者	恵良神社ほか	管理団体	
指定年月日	昭和52年4月15日		
解説	<p>恵良城跡は、旧北条市北部、恵良山（標高302m）にある山城跡である。恵良山はその形状から烏帽子山<small>えぼし</small>また冠山<small>かんむり</small>とも呼ばれている天然の要害である。</p> <p>山頂が城の中心部分となっており、その西側の下段には二の郭がある。また、山腹の3か所には井戸の遺構などがみられる。</p> <p>記録によれば治承5（1181）年、平家側の<small>ぬか</small>奴何入道西寂<small>こう</small>が河野<small>の</small>通清を攻撃したとき、通清は日高・高穴・恵亮（恵良）などの砦を守らせたとあるのが初見であり、以後、風早郡<small>かざはや</small>の要衝として河野氏の諸将の居城となった。天正13（1585）年、豊臣秀吉の四国統一によって河野氏が滅亡し、恵良城は来島康親<small>くるしまやすちか</small>の居城となったが、その後、関ヶ原の戦いに西軍に荷担した来島氏が豊後国森へ移封され、この恵良城は廃城となった。</p>		

